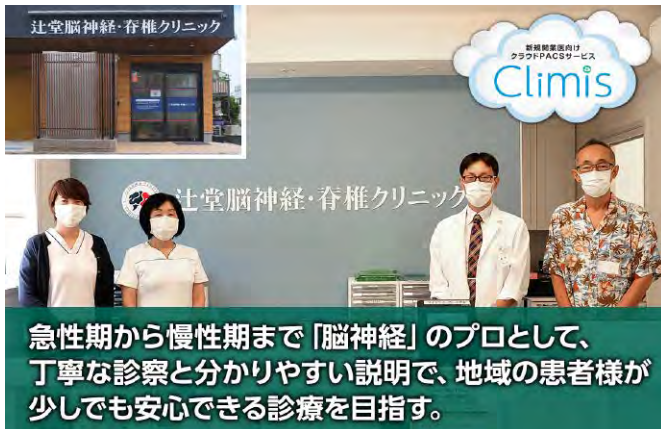


導入事例 Case study

辻堂脳神経・脊椎クリニック様

J-MAC
SYSTEM

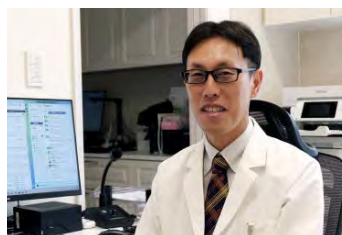


神奈川県藤沢市にある「辻堂脳神経・脊椎クリニック」。脳や脊髄の疾患から予防のための生活習慣病の管理まで、地域住民の「頭や背骨の相談所」として2023年7月に開院。患者さん一人ひとりと相談して納得した治療をテーラーメイドしていくことを心がけている。開院にあたり、なぜ「Climis」を導入されたのか、中川 祐 院長にお話を伺いました。

同じ患者さんと長く付き合い、一般的に治療方針を相談する

– 先生のご経歴および開院までの経緯についてお聞かせください。

私は慶応義塾大学医学部を卒業後、初期研修の2年後に母校の脳神経外科の外科学教室で研鑽を積みました。専門医の取得については各大学で色々な規定および計画がありますが、脳神経分野の診療を10年以上継続しました。その後いくつかの病院勤務を経て、開院する前は済生会横浜市東部病院で勤務、急性期治療が必要な方への手術やカテーテル治療を専門に診療にあたっていました。急性期の病院では治療が終わると、患者さんは地元のかかりつけ医の先生に診察へ戻られることがほとんどです。経過がわからなかったり、すぐ悪化して急性期の病院へ戻ってしまうこともあります。「同じ患者さんと長く付き合い、主治医として一般的に治療方針を相談していく」というのが私自身が志す医療でもあり、いつかは地元での医療に貢献したいという思いも持っていました。そこに新型コロナの感染拡大という1つの大きなタイミングもあり、開業することに至りました。



中川 祐 院長

– クリニックの特徴を教えてください。

この地域において、利便性の高いクリニックにしたいという思いがありました。私はサッカーをやっていますが、休日の日に頭をぶつけるような怪我をした場合、救急の病院に行くしかありません。土日診療を行うことで地域に貢献できたというところで、土曜日は午前、日曜日は第1/第3/第5の週は通常時間の診療を行なっています。

また実際土日の診療を開始して



クリニック外観

みると、圧倒的に頭痛に困っている患者さんが多く来院されており、頭痛診療にも力を入れています。これは土日も開院しているという情報をインターネットやGoogle検索で知って来院される若い方たちが多いのですが、頭痛治療の需要がこれほど高いとは思っていませんでした。頭痛治療は痛みを抑え、日常生活への影響を抑えるという治療が中心になりますが、当院では西洋医学に加えて漢方薬治療も取り入れています。やはり従来の西洋薬だけで痛みを抑えきれない方もいますし、副作用の問題で西洋薬を受け付けられない方もいます。少しでも患者さんに良くなっていただくため、両方を取り入れています。また患者さんの利便性の向上を考え、Webを利用した診療予約やオンライン診療も行なっています。

– クリニックのコンセプトについてお聞かせください。

当院では脳神経の専門クリニックとして最新のCTとMRI装置も備えており、すぐに検査結果の説明が可能です。大きな病院や検査機器が揃っていないクリニックでは、受診当日に検査できず、あらかじめ検査日を予約しなければならない施設もあります。患者さんは検査の結果を聞くまでは不安が続きますし、脳疾患では急速に症状が悪化することもあります。患者さんの不安をなるべく早く解消できるクリニックということにこだわっていきたくと思っています。



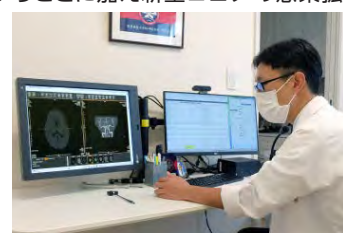
CT撮影装置

また最新の医療を機械的に割り当てるのではなく、患者さん一人ひとりと相談し、納得いただける治療をテーラーメイドしていくことを心がけています。育ってきた環境や価値観が患者さんにはそれぞれあり、今までの治療を急に変えることが難しい場合もあります。患者さん本人が納得して治療に臨まなければ治療効果が上がりやすく、特に頭痛に関しては顕著です。例えば痛み止めに関しては、人によって効く効かないがすぐはっきり分かります。色々と情報やデータを提供し選択肢をいくつか出した上で、治療方針を患者さんと一緒に決めるということを大切にしています。

ハード的な更新料金に加え、保守料金がなかったことが決め手

– どのような経緯でClimisに決めたのですか。

MRIの導入を決めていたため、PACSの導入は必須であると思っていましたが、実際のところ、どうしようか悩んでいました。開業支援のコンサルの方、モダリティメーカーの方も交え、電子カルテおよびPACS選定を進めていましたが、紹介されたあるメーカーの製品はオンプレミスのPACSでした。オンプレミスの場合、数年後のハード的な更新料金に加え、保守料金も含めるとかなりトータルコストがかかることに疑問を抱いていました。新規開業ということに加え新型コロナの感染拡大もあり、経営的な不安もありましたので、なるべく低コストで導入できるPACSがないかインターネット等で探したところ、クラウドPACSを知り、その中で「Climis」という製品を見つけ、直接問い合わせをしました。

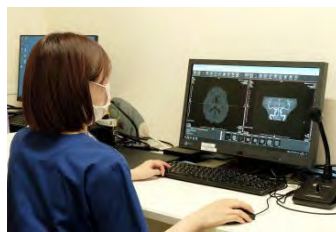


診察室での画像確認

画像表示がスムーズにできることが一番の選定ポイント

-- 選定のポイントや決め手について、お聞かせください。

クラウドシステムということでインターネット上から重いデータをダウンロードして見るようなイメージでしたので、画像表示のスピードはどうか、サクサク動いてくれるかというのが一番の心配でした。外来診療では1分1秒を惜しむこともあり、画像を開いて



撮影室での画像参照

スクロールするごとに止まるようでは使い物になりません。画像表示がスムーズにできることが一番の選定ポイントでした。選定にあたっては各社のデモで複数の製品を見させてもらいました。色々な機能がついているメーカーや3Dの再構成ができる製品もありましたが、正直なところ、外来診療ではあまりそのような機能は必要ありません。確かに手術前とかは3D画像を自分もよく見ていましたが、外来診療ではほぼ見ないですね。クリニックの外来診療においてはシンプルな機能で十分で、むしろコストパフォーマンスが重要だと思います。

費用に関しては、画像保管容量で金額が増えることに懸念していました。ここが増えてくるとオンプレと変わらない金額になるメーカーもあります。当院はCTやMRIもありますので、容量的にはある程度多くなることが予想されていたので、その点、Climisは定額料金制で保管容量が無制限ということが決め手の一つでもありました。

-- Climisの機能についてお聞かせください。

他院との連携において、持ち込まれたCDからの画像取り込みを使用しています。CDに付属しているビューアでも画像を見ることはできますが、CDから起動するため動きも遅く、見るのに非常に時間がかかってしまいます。持ち込んだ画像をPACSに取り込み、いつも使用しているClimisのビューアで見ることで時短にもなりますし、次回以降の比較にも有効です。また取り込みに関しては、保管容量が従量課金制の場合は気にする必要がありますが、Climisは容量無制限のため、気にする必要がありません。画像の取り込みにおいては、稀に書き込んだデータの不備で取り込めない画像があります。Climisへの要望ではありませんが、この点についてはPDIの規格として、業界やメーカーでデータの統一性をもう一度きちんと検証して欲しいと思います。

また院外での利用という点では、当日来院予定の患者さんのカルテを事前に準備、確認しています。検査が予約されている場合に、前回の検査画像を自宅でも確認できるという点が良いですね。

他の機能では、過去画像比較の際に、同期機能は必ず使います。これは機能の改善要望になりますが、計測機能はよく使用しますので、ボタンを押さなくてもショートカットコマンドで計測ができるといいですね。

-- 導入後の感想をお聞かせください。

実際、導入して1年が経ちましたが一度もトラブルはなく、導入して良かったと思っています。また遠隔読影のオプションも入っており、あまり見ない症例の場合は利用しています。当院は頭と脊椎の診療が中心ですが、どうしても、「肩を撮って診てください」というような患者さんもあり、遠隔読影をお願いすることもあります。いつでも依頼ができるという点では本当にありがたいし、安心感がありますね。

-- 保守、サポート面についてはいかがでしょうか。

CD取り込みでデータ不備の画像を取り込んでしまったため、転送が止まってしまうことがありましたが、リモート対応ですぐに改善していただきました。状況や原因もきちんと調べていただいたので、それ以降は転送できないデータの取り込みを止めており、問題が起きていません。

-- 医療分野でのAIの活用について、先生のご意見をお聞かせください。

活用してみたいとは思っていますが、AIだとどういことができ、どう活用できるのか、まだまだ結論が出ないのが実情だと思います。読影現場での画像処理や補助としての機能や、画像の鮮明化、きれいにするような技術は使われ始めていますが、もっとすごいことができるんじゃないか?という期待もしています。医師の仕事をAIが完全に担うというのは責任的な問題で難しいとは思いますが、安全性や責任の問題が関わらない他の分野、例えば受付とかレセプトの請求など、業務的な補助ができるようになるとありがたいですね。AIが事務的な業務を担うことにより、受付や事務職員が患者さんと接する時間を増やすことができれば、AIの活用方法としては一番良いと思いますし、やはりAIというものが今後、人間の生活を支えていくようになることを期待しています。

-- 最後にPACS導入をご検討中の方へ、Climisを薦めるポイントがあればお願いします。

日々の診療において一番求めることはシステムの安定性であり、不具合がなく業務を行えるかだと思います。Climisを導入し1年間使用していますがトラブルもほとんどありません。余計な機能がついていないため、シンプルで使いやすくGUIも一眼でわかるので、導入したその日のうちに使うことができます。

導入を迷っている方、特に費用面においては格段にコストパフォーマンスが良いので、安かろう悪かろうみたいない印象を受ける方もいるかと思いますが、そこは良い意味で期待を裏切られ、自信を持ってお薦めできる製品だと思います。



取材協力:辻堂脳神経・脊椎クリニック
(2024年7月 取材)